

CLIPPEDIMAGE= JP407181462A

PAT-NO: JP407181462A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 07181462 A

TITLE: FOLDABLE LIQUID CRYSTAL DISPLAY

PUBN-DATE: July 21, 1995

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

ITO, HIROSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

ITO HIROSHI

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP05344756

APPL-DATE: December 21, 1993

INT-CL (IPC): G02F001/1333;G02F001/1347

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain a large display area with a small housing area by adopting a structure capable of foldably housing a liquid crystal display.

CONSTITUTION: The separated liquid crystal display 1, is formed foldably by a folding shaft 2 and is housed by folding the display. To use, a user opens the liquid crystal display 1, inserts the folding shaft 2 into a frame 3 and fixes the liquid crystal display 1. An example of transverse two-folding of the liquid crystal display 1 is shown in Fig. Folding may be made in any plies and may be a combination of longitudinal and transverse folding. Folding the liquid crystal display 1 with the display surface on the front or on the rear is equally well. A fixing method other than a method of

inserting the folding  
shaft 2 into the frame 3 and fixing the liquid crystal  
display is usable as  
well. As a result, even a portable apparatus is capable of  
having the liquid  
crystal display 1 having the sufficient display area.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-181462

(43)公開日 平成7年(1995)7月21日

(51)Int.Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

G 0 2 F 1/1333

1/1347

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平5-344756

(22)出願日 平成5年(1993)12月21日

(71)出願人 592079583

伊藤 浩士

東京都墨田区両国2丁目10番11-802 両

国シティコア

(72)発明者 伊藤 浩士

東京都墨田区両国2丁目10番11-802 両

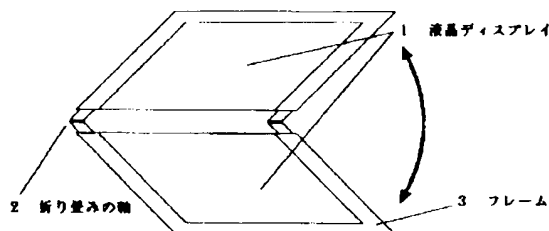
国シティコア

(54)【発明の名称】 折り畳み式液晶ディスプレイ

(57)【要約】

【目的】 より表示面積を大きくするため、液晶ディスプレイを折り畳み式にし、より小さい面積で収納できるようにする。

【構成】 液晶ディスプレイ1を折り畳みの軸2で折り畳めるようにする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 液晶ディスプレイを折り畳み収納できるようにする

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、液晶ディスプレイを折り畳み式にすることに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の液晶ディスプレイは表示面積と収納面積が等しく、収納面積から液晶の表示面積が限定され、例えば携帯用のコンピュータでは、17インチのディスプレイ表示は不可能であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】したがって、より表示面積を大きくするため、液晶ディスプレイを折り畳み式にし、より小さい面積で収納できるようにすることが、要望された。

【0004】

【課題を解決するための手段】いまその解決手段を図において説明すれば、(イ) 図1のように分離された、液晶ディスプレイ1を、折り畳みの軸2で折れるようにし、折り畳み収納できるようにし、(ロ) 利用するときは、図2のように液晶ディスプレイを開き、折り畳みの軸2を、フレーム3に差し込み、(ハ) 図3のとおり液晶ディスプレイを固定する。

【0005】

【作用】以上の解決手段により、液晶ディスプレイが、収納面積に比して、より大きな表示面積が得られることになった。

【0006】

【実施例】なお、本発明の実施において、以下の場合でも同様の効果が得られる。

【0007】図1では、液晶ディスプレイ1を横2つに折った例を示しているが、何重でも、縦横組み合わせて

もかまわない。

【0008】図1の折り畳みは、液晶ディスプレイ1の表示面を表にして折り畳んでも、裏にして折り畳んでもかまわない。

【0009】図1では、分離された2つの液晶ディスプレイ1の間が空いているが、密着していてもかまわない。

【0010】図2は、折り畳みの軸2をフレーム3に差し込んで、液晶ディスプレイ1を固定している例であるが、他の固定方法でもかまわない。

【0011】図1では、固い曲げられない液晶ディスプレイの例を示しているが、ワール状にして、収納してもよい。

【0012】

【発明の効果】この発明は、以上説明したように構成されるので、以下に記載されるような効果がある。

【0013】携帯用の機器でも十分な表示面積の液晶ディスプレイを備えることができ、備え付け機器でしか不可能であったことも可能となる。

【0014】収納面積が小さくなるので、より小さい携帯用の機器ができる。

【0015】備え付けの機器でも、より大きな表示面積を得られるものが可能となる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】折り畳み式液晶ディスプレイの例を示す斜視図である。

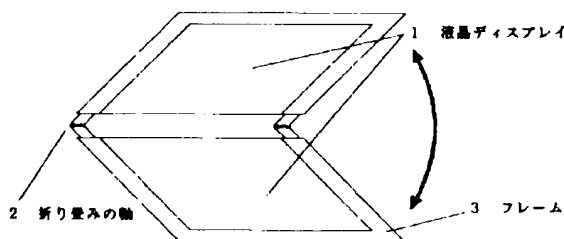
【図2】折り畳み式液晶ディスプレイを開き、固定するときの正面図である。

【図3】折り畳み式液晶ディスプレイを開き、固定した後の正面図である。

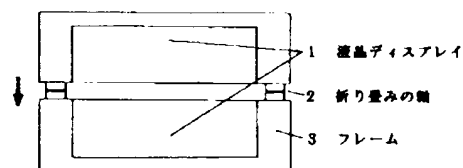
## 【符号の説明】

- 1 液晶ディスプレイ
- 2 折り畳みの軸
- 3 フレーム

【図1】



【図2】



(3)

特開平7 181462

【図3】

